



# 菜園雑学

No. 21

- カボチャ -

平成18年3月28日  
神奈川県農業共済組合

栄養豊富な野菜で長期保存ができます。自家菜園として野菜を作るときに参考にいただければ幸いです。



## 1 播種時期と収穫時期

播種 3月下旬～4月上旬 定植 4月下旬～5月中旬

収穫 6月下旬～7月中旬

- ・播種後10日目頃本葉1枚の時にポリ鉢に移植します
- ・育苗日数40～50日で本葉5～6枚の苗に育てます。

## 2 栽培品種(特性)

みやこ：早生種、果皮色は濃緑色、果肉色は濃黄色、収量性は中、果重は約1.2kg

えびす：中生種、果皮色は濃緑色、果肉色は濃黄色、収量性は多、果重は約1.5kg

## 3 定植準備

- ・標準施肥量は1a当り堆肥150kg、CDU複合燐加安10kg、苦土石灰10kgを施用し、追肥は第1果が着果した後に草勢を見てNK化成を4kg行います。
- ・定植20日前に肥料を前面に施し、床幅120～150cm、高さ15cm、通路60～100cmのベツトを作り充分灌水をします。
- ・本葉5～6枚の苗を株間60～70cmに定植します。1a当り約60～90本が必要です。定植は無風で暖かい日に行い、ホットキャップ又はマルチを行うと良いです。

## 4 栽培管理

- ・整枝は親ずる1本仕立てか、子ずる2本仕立てとし、初期に1～2回側枝かきを行います。
- ・着果を促進するため、人工交配又はホルモン処理を行います。人工交配は開花した雌花に早朝雄花の先端を軽くたたきつける。薬剤は、雌花の柱頭に噴霧します。
- ・着果は、草勢の強いものは第1果を8～10節に、第2果を12～13節に第3果を15～16節につけます。草勢が弱いときには第1果を12～13節につけます。
- ・敷ワラは花が咲き始める頃に行います。
- ・玉返しは、第1回が果が湯のみ茶碗ぐらいの時、2回目はこぶしより大きい時に行います。1回目は果をあまり動かさず、2回目は半転します。

5 収穫は、一般的には開花後30～40日で収穫できます。

## 6 病害虫防除

- ・病害虫の発生は適宜、薬剤散布をして下さい。
- ・長期間収穫をするには、うどんこ病やべト病等の防除に注意して下さい。



参考文献 県環境保全型農業栽培の手引き、神奈川の野菜